

## 8月13日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①プーチン大統領: 広島・長崎を核攻撃する軍事的必要性はゼロだった【2024年8月11日】

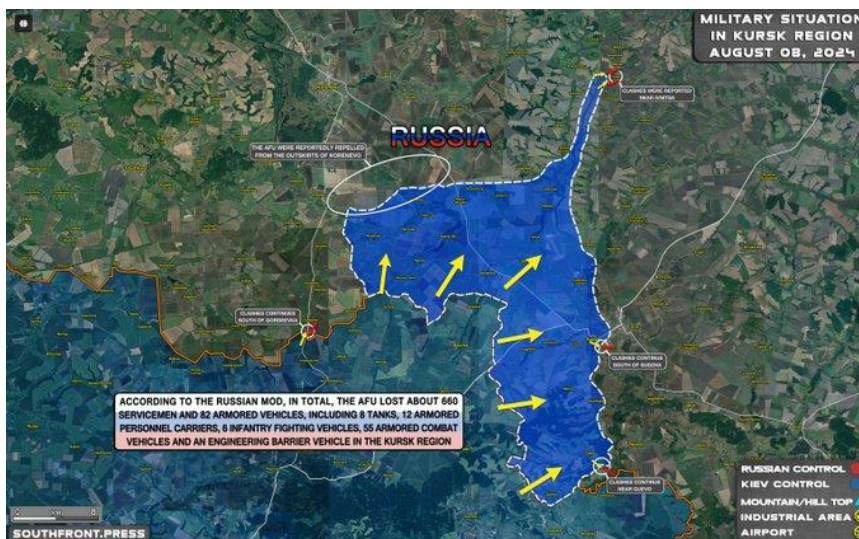
<https://x.com/i/status/1822592070013624342>



<https://x.com/ShortShort News/status/1822592070013624342?s=09>

### ②ロシア領土内に対する事実上のNATOの攻撃でWWIIIを誘発する西側の努力の一環と見られる。→ロシアのレッドラインを超えてきてる【2024年8月11日】

クルクス戦と言えは、WWII に戦車同志の対決があった戦地で有名な場所。ウクライナはクルクスを攻撃することで戦線を増やしたが、他から軍をこちらに回しているのでドネクスあたりが手薄になり、ウクライナの防衛にはならないと思われる。むしろ、ロシア領土内に対する事実上のNATOの攻撃でWWIIIを誘発する西側の努力の一環と見られる。西側はロシアを潰せばブリックスを潰せると計算している。



<https://x.com/AaronOtsuka/status/1822338091777994915>

### 〈関連情報〉

「ヨーロッパは紛争に積極的に関与しており、これを容認している」。彼らは武器で我が国の領土を攻撃するよう言いたい、冗談は終わった、8月13日からのロシア連邦領土におけるキエフ政権のテロ行為に対抗して、あなた自身が我々に厳しい措置をとるよう強制した、と言いたい。

<https://x.com/zov vs nato/status/1822564499670565067?s=09>

レッドラインは終わった、ウラジーミル・プーチン大統領は緊急訴えを行った。「キエフ政権はあらゆる許容範囲を超え、ロシアの民間人に対して戦争を始めた。彼らは住宅を攻撃し、国境地域でテロを組織し、これには何の反応もないと考えている。



<https://x.com/zov vs nato/status/1822564496264888812?s=09>

### ㊦停戦を拒否したのはウクライナ、今停戦しなければ祖国は三分割の憂き目に＝外務省元高官【2024年8月10日】

ウクライナは早急に和平交渉を開始しなければ大国によって三分割される。ロシア政治の専門家、東郷和彦氏(元外務省欧亜局局長)がスポーツニク通信の取材に応じた中で指摘した。

東郷氏によると、米英がロシアとの交渉を拒否すれば、ウクライナは三分割される可能性が高い。ロシアは今後3カ月で可能な限り前進し、バイデン政権だろうが、ハリス政権だろうが、トランプ政権だろうが、二度と再帰できないほどの打撃をウクライナに加えるとのこと。そして東部はロシア、西部は西側が分割し、首都キエフを含む中部がウクライナ領として残るとの見通しを示した。

東郷元局長はプーチン大統領が6月中旬に提示した和平案を無視すべきではないと助言している。バイデン氏とゼレンスキー氏は交渉に応じず、1991年の国境に固執しているものの、2022年3月のイスタンブール合意を拒否したのはウクライナである以上、クリミア返還を要求できる立場にはないと分析する。元局長によると、仮にウクライナがイスタンブール合意に同意できていれば、クリミア領を完全に放棄することはなかったとのこと(イスタンブール合意ではクリミアの地位に関する問題を15年間にわたって棚上げし、後に交渉で解決することが規定されていた)。

このまま戦闘が継続すれば、現在の国境さえ維持することも不可能であることから、全ては後の祭りになるとゼレンスキー体制に警告している。

ロシアのプーチン大統領は6月14日、ウクライナ紛争解決に向けて新たな和平案を提示した。それによると、クリミア、ドネツク人民共和国、ルガンスク人民共和国、ヘルソン州、ザポロジエ州をロシア領として承認することに加え、ウクライナの非陣営化、核放棄、非軍事化、非ナチス化、及びロシアに対する制裁解除を提案した。

東郷元局長は2001年に露イルクーツク市で行われたプーチン大統領と森喜朗首相(当時)の首脳会談準備や、ゴルバチョフ初代ソ連大統領の訪日準備(1991年)に向けて中心的役割を担った。



[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1822512680084848654?s=09](https://x.com/sputnik_jp/status/1822512680084848654?s=09)

#### ④露指導部に対する日本の制裁は致命的な過ち＝外務省元高官【2024年8月10日】

日本政府はロシアとの平和条約交渉を進める姿勢を示しつつ、プーチン大統領への制裁を導入することで交渉のメカニズムを自ら破壊した。

ロシア政治の専門家、東郷和彦氏(元外務省欧亜局局長)はスプートニク通信の取材に応じた中で日本の対ロシア政策を評価した。

東郷元局長は2001年に露イルクーツク市で行われたプーチン大統領と森喜朗首相(当時)の首脳会談準備や、ゴルバチョフ初代ソ連大統領の訪日準備(1991年)に向けて中心的役割を担った。

東郷氏によると、日本政府はロシアがウクライナに負けることを期待しており、ロシアの敗北後に平和条約交渉を再開するつもりだという。そうした判断でプーチン大統領に制裁(2022年3月1日)

を発動したものの、これは「致命的間違い」だとした。ロシア側はこの制裁に反発し、日本政府との平和条約交渉凍結を発表している。

日本政府はロシアの敗北に賭けている以上、戦闘継続を主張するゼレンスキー氏とバイデン氏に同調しており、それこそが致死兵器を除いて日本がウクライナに支援を提供する理由だと東郷氏は説明した。

さらにプーチン氏の娘とされる人物らに日本政府が制裁を発動したことにも言及、「ある種の官僚主義的なミス」であり、それ以外に説明しようがないと語った。

日本は2022年3月以来、1070人のロシア人に個人制裁を課したほか、847社の企業や団体に対して資産凍結、537社に対して輸出禁止を発動した。

これに対し、ロシア連邦は西側の制裁圧力に対処できていると繰り返し表明している。プーチン大統領は制裁について、ロシアではなく世界経済に深刻な打撃を与えるものだと評価している。メドヴェージェフ元大統領も西側の封じ込め戦略に言及、対ロシア制裁の失敗を認める勇気を持つべきだと助言している。



[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1822143239949890032](https://x.com/sputnik_jp/status/1822143239949890032)

## ⑤ 国務省はウクライナ軍の衰退状態やその破滅が迫っていることを認識していると思いますか？—ダグラス・マクレガー【2024年8月11日】

●A: ええ、裏では、ついに現実を受け入れざるを得なくなっていると思います。数ヶ月前のように、自分達の作った幻想を信じ込むことはもうないでしょう。

ゼレンスキー夫妻が最近、トスカーナに壮大なワイナリーを購入したことはご存知でしょうか。

彼らがそれを所有し、併設のヴィラも手に入れた今、すぐにでも逃げ込める場所があるわけです。ゼレンスキーも、事態が終わりに近づいていることを察しているでしょう。

完全な崩壊が迫った時には、アフガニスタンからの撤退のように、あるいはイラクの将軍たちが現

金をスーツケースに詰めてヨルダンやクウェートに逃げたように、彼も撤退するでしょう。同じことです。

◇Q:話題を変えますが、アメリカ政府はイスラエルに対して異議を唱えたり、反対することはあるのでしょうか？

●A:異議を唱えることはあるかもしれませんが、反対することはまずないでしょう。ただ、これまでに見たことのないようなイスラエルのリーダーシップに直面しているのも事実です。過去 50 年の間に、時折イスラエルの首相の傲慢さに対して不快感を覚えた大統領や首相がいたかもしれませんが、今回は異なります。

これは、想像しがたいほどの傲慢さです。ネタニヤフのように、傲慢さの犠牲者になると、現実を歪め状況を慎重に分析する能力を損ない、現実から乖離してしまうのです。このことはワシントンでも理解されていると思いますが、何も手を打つことができません。彼らは皆、イスラエル・ロビーに対する恐れを抱いているのです。

<https://x.com/i/status/1822533868479754572>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1822533868479754572?s=09>

## ⑥ 松田学のニュース解説『8／7現在 ウクライナ危機&パレスチナ最新情勢&状況分析【2024年8月7日】』

<https://youtu.be/O IR4nvSbfw>



<https://www.youtube.com/watch?v=O IR4nvSbfw>

### ⑦紛争の段階が変わった象徴的な映像【2024年8月10日】

クルスク州リルスクに到着したロシア軍の車両隊列に対する、ウクライナ軍の HIMARS による容赦ない攻撃。かなりの人員損失になったと見られる。

<https://x.com/i/status/1822279335274750196>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1822279335274750196?s=09>

### ⑧ルカシェンコ大統領の弁【2024年8月11日】

ルカシェンコ大統領「昨夜、(ウクライナからの)ドローンの一団が、私達の領土を經由しロシアに侵入した。我々は武力を行使し、それらを撃墜しなければならなかった」。大統領はウクライナ国境における事態に対処することを約束した。

<https://x.com/i/status/1822465937393770848>



<https://x.com/tobimono2/status/1822465937393770848?s=09>

## ⑨クルスクに関するニュース【2024年8月11日】

クルスク地域に侵入してきた戦闘員の中にはポーランド人とグルジア人がおり、前者は特に凶暴だ。捕虜となったロシア兵、特に徴集兵に対して虐待や首を切り落とす事件が発生している。

ウクライナ、クルスク地域で化学兵器を使用 - ウクライナは塩素を充填した弾薬を使用した。「これを吸入した全員が今、けいれんと嘔吐を起こしています。毒物検査に送られています。粘膜が灼熱しています。」

ロシアは今日クルスクに援軍を送った。縦隊は BM-21 Grad MLRS、大砲、トロール船で輸送された戦車、重装軌車両、ウラル車両および KamAZ 車両で構成されています。

<https://x.com/i/status/1822444600667320745>



<https://x.com/Monmi0614/status/1822444600667320745?s=09>

## ⑩ウクライナ軍によるエネルゴダルへの砲撃の結果、ZNPP 冷却システム施設で火災が発生しました(2024年 8 月 12 日)

ザポリージャ原子力発電所の6つの発電装置はすべて冷温停止中であり、水蒸気爆発の危険はなく、バックグラウンド放射線も正常です。

非常事態省の職員が火災現場で活動しており、火災は消し止められています。

<https://x.com/i/status/1822907252111794663>



[https://x.com/zov\\_vs\\_nato/status/1822907252111794663?s=09](https://x.com/zov_vs_nato/status/1822907252111794663?s=09)